

入門 WS 2-7 《「問い」の創造》WS メニュー

建築を考えるときは、まず「何が問題なのか」「この建築で一番大事にしたいことは何か」という『問い』を自分でつくるのが大切です。問いがないままなんとなく形だけ決めてしまうと、建物が本当に必要としている役割が曖昧になり、中途半端な計画になってしまいます。たとえば住宅なら、「家族が集まるリビングを大事にするのか」「一人ひとりの個室の時間を大事にするのか」という問いを立てることで、部屋の広さや配置の考え方がはっきりしてきます。建築にはいつも「全部は叶えられない」というジレンマがあり、その中で何を優先するかを考え、バランスよく解決していくことが求められます。このように、自分で問いをつくり、その答えを探るプロセスこそが「建築を考えること」であり、その質が建物の良し悪しを決めていくのです。

そこで、あなたが設計者になり住宅を設計したいという家族のための住宅を設計のヒントになる問いを考えてみてください。

どんな問いが作れるか考えてみよう！

あなたは設計者です。あなたが住む地域に、ある家族から住宅の設計を依頼され、これから初めての打ち合わせに行きます。大事な質問を5つできます。どんな質問をしますか？

家族構成

- ・4人（40代の夫婦＋小学生の子供二人）＋ペット（小型犬）

施主の要望

- ・家族がくつろげるリビング
- ・各自の部屋が欲しい
- ・全体的に明るくて、風が通り抜ける
- ・いっぱい収納は欲しい
- ・2台止められる駐車場
- ・トイレは2ヶ所

例えば、

「お父さんはインドア派ですか？アウトドア派ですか？」、
「家族全員で朝食・昼食・夕食を一緒に取る曜日はありますか？」など。

質問 1

質問 2

質問 3

質問 4

質問 5